

格上チームを打ち破るためのチーム戦略

知将 中島正信の「弱者の戦略」

小さく！
スピードのある！
チームのための
オフェンスシリーズ



指導・解説：中島 正信
(久留米工業大学女子バスケットボール部ヘッドコーチ)
実技協力：久留米工業大学女子バスケットボール部

DVD No. 全3枚 **25,200円**
679-S 各枚8,400円(税込・送料別)



小さいチームが 大きいチームと戦う戦略

「スピードはあるが大きい選手がいなく、インサイドで点数が取れない。」
「今度のチームは小さいので、どうやって戦うか。」

など、選手のサイズのことで多くの指導者が悩んでいることでしょう。
今シリーズでは、三菱電機、富士銀行、全日本ジュニアなどのヘッド
コーチを歴任し、今までに大きな選手が揃うチームを打ち破ってきた
知将中島正信ヘッドコーチが、マンツーマンディフェンス・ゾーンディ
フェンス・ゾーンプレスと相手チームの仕掛けてくるディフェンスへの
対応と攻略法をご紹介します。

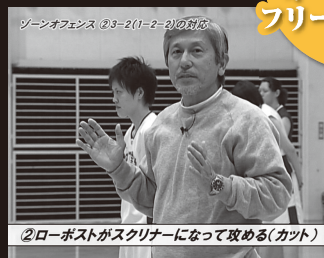
小さなチームが大きなチームと戦うための戦術をぜひご覧ください。



①ボールサイドにミート



スクリーンオフェンス ①ポストマン×アウトサイドマン



②ローポストがスクリーナーになって攻める(カット)



斜めに出るとボールマンと近くなるのでダブルチームされやすい

戦略家
中島正信の
オールアウト
フリーオフェンス

679-1 88分 セットオフェンス

オールアウトフリーオフェンスでは、3種類のボールミートとフラッシュを駆使し、ペイントエリアに広いスペースを作り1対1での勝負、またはフリーの選手を作り出し、そこから確率の高いシュートへ持ち込みます。スクリーンオフェンスでもペイントエリアからセンターやポストマンを誘い出し、より高い位置でスクリーンプレーをおこないペイントエリアへ侵入します。

■オールアウトフリーオフェンス

■スクリーンオフェンス

①ポストマン×アウトサイドマン

- インサイドスクリーン
- アウトサイドスクリーン
- 発展編

■スクリーンオフェンス

③フレアースクリーン⇒ダウンスクリーン

■シチュエーション・シュートドリル

- アーリー
- シザーズ
- ダウンスクリーン

■スクリーンオフェンス

②フレアースクリーンからのプレー

- ドリブルスクリーン⇒フレアースクリーン
- パス⇒フレアースクリーン
- シザーズプレー

679-2 60分 ゾーンオフェンス

小さいチームがファストブレイクを止められた場合、相手はゾーンを敷いてきます。多くのチームはこのゾーンに引っかかり、うまく得点出来ないことになります。ゾーンを敷かれた場合、通常とは違うポジションのハイポスト・ローポストに選手を配置しオフェンスを開始します。スペースとフリーの選手を作り出し、ゾーンディフェンスを打ち破ります。

■2-1-2 (2-3)の対応

■3-2 (1-2-2)の対応

■1-3-1の対応

679-3 46分 ゾーンプレスアタック

スピードが武器のチームに対しては、相手はゾーンプレスを敷いてスピードを削ぎにくる場合があります。スリークォーターの場合とフルコートの場合でのゾーンプレスアタックの方法をご紹介します。この攻撃のポイントは通常、4番がフラッシュボールを受けにきますが、この攻撃は1番・2番・3番の動きでゾーンプレスを打ち破ります。

■対 1-2-1-1 (スリークォーター)

■対 1-2-1-1 (フルコート)

■対 2-2-1

■パッシングダウン

- 対マンツーマン
- ゾーンプレス

ジャパンライムのホームページ

<http://www.japanlaim.co.jp/dm>

メール会員登録募集中!

お申し込み方法

- 送料は何巻でも525円となっております。ご希望のDVD No.を指定し、電話かハガキ、もしくは、FAXにてお申し込みください。
- 表示価格は消費税込みの価格です。
- ホームページからのお申し込みもできます。

〔記入例〕

DVD No.
お名前
ご住所/TEL
お勤め先/TEL

お支払い方法

- 到着日指定の「代金引き換え」の宅配便でお送りしております。
- 学校公費及び教育機関、また個人研究費などご購入の場合、必要書類は、担当者までお申し付けください。
- カード(JCB、VISA、AmericanExpress、MASTER、DC、UC、UFJ、NICOS、イオンクレジット、ダイナース、クレディセゾン、東急TOP&カード)もお取り扱いできます。(分割可)

●お申し込み・お問い合わせはお気軽に!

JLC ジャパンライム株式会社

03(5840)9980

〒113-0033 東京都文京区本郷5-25-14 本郷竹下ビル4F

FAX.03(3818)6656